

臨床研究・試験課題および期間	審査委員会承認日	診療科 実行責任医師
日本人血液疾患患者におけるアスペルギルス属およびその他の糸状菌類による侵襲性真菌感染症についての疫学的調査 Japan Aspergillosis surveillance program(JASPER) 研究期間:承認後～2012年2月	2009年5月18日	血液内科 衛藤 徹也
末梢T細胞リンパ腫に対する自家および同種造血幹細胞移植の比較検討 日韓共同調査研究 登録期間:2008年9月1日～2009年3月31日	2009年3月27日	血液内科 衛藤 徹也
急性前骨髄性白血病に対する治療プロトコール-FBMTG-APL2009- 登録期間:2009年2月1日～2014年1月31日(5年間) 追跡調査:最終症例登録から3年後と5年後実施	2009年3月27日	血液内科 衛藤 徹也
再発または進行性の多発性骨髄腫に対するボルテゾミブ、ドキシソルビシン、中等量デキサメタゾン併用療法(iPAd療法)の安全性と有効性を確認する臨床第I/II相研究 登録期間:2008年5月1日～2010年4月30日(2年間)	2009年2月6日	血液内科 衛藤 徹也
再発および治療抵抗性末梢T細胞リンパ腫に対する減量強度移植前治療を用いた同種造血幹細胞移植法の有効性に関する検討(多施設共同第II相試験) 登録期間:2年間 経過観察期間:移植後1年間	2009年2月6日	血液内科 衛藤 徹也
成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコール -ALL/MRD2008- 多施設共同第II相試験 登録期間:承認後～2012年10月31日(4年間)	2008年12月5日	血液内科 衛藤 徹也
成人T細胞白血病・リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の予防因子の解析 研究期間:2008年9月2日から2年間	2008年10月8日	血液内科 衛藤 徹也
同種造血細胞移植後の腸管急性移植片宿主病(GVHD)に対する経口ベクロメタゾンの有効性および安全性の評価を目的とした臨床第II相試験(FBMTG-004) 登録期間:2008年10月1日～2010年9月30日	2008年10月8日	血液内科 衛藤 徹也
末梢造血幹細胞移植における凍害防止剤CP-1の有効性と安全性に関する研究 登録期間:2008年6月末日～2008年12月31日	2008年10月8日	血液内科 衛藤 徹也
成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)に対する非血縁者間同種骨髄移植における骨髄非破壊的処置療法の安全性を検討する第I相試験 研究期間:承認後～2年間	2008年8月1日	血液内科 衛藤 徹也
骨髄破壊的前治療による臍帯血移植 -CsA/MTXによるGVHD予防- 登録期間:承認後～2009年12月	2008年6月17日	血液内科 衛藤 徹也
骨髄非破壊的前治療による臍帯血移植 -CsA/MMFによるGVHD予防- 登録期間:承認後～2009年12月	2008年6月17日	血液内科 衛藤 徹也
同種造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス再活性化に対するバルガンシクロビルによる早期治療の有効性および安全性の評価を目的とした臨床第II相試験 登録期間:承認後～2008年2月28日	2007年6月14日	血液内科 衛藤 徹也
びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫(DLBCL)の予後因子と治療成績の関連に関する多施設共同後方視的研究。臍帯血を用いる造血幹細胞移植技術の高度化と安全性確保に関する研究 研究期間:2006年12月1日～2007年5月31日	2007年1月26日	血液内科 衛藤 徹也

臨床研究・試験課題および期間	審査委員会承認日	診療科 実行責任医師
同種造血幹細胞移植後の生着不全症例に対する臍帯血ミニ移植に関する多施設共同後方的研究 データ収集期間:2006年6月1日～2007年6月1日	2007年1月26日	血液内科 衛藤 徹也
FOLFOX療法に起因する末梢神経症状に対する牛車腎気丸の有効性を検討する二重盲検無作為化比較第Ⅱ相臨床試験<GONESTudy>	2009年8月5日	腫瘍内科 三ツ木 健二
切除不能大腸癌に対する5-FU/1-LV/oxaliplatin (FOLFOX) + bevacizumabとTS-1/oxaliplatin (SOX) + bevacizumabとのランダム化比較第Ⅲ相試験 登録期間:2009年2月1日～2011年1月31日(2年間) 追跡期間:登録終了後～2013年7月31日(2.5年間)	2009年8月5日	腫瘍内科 三ツ木 健二
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究 登録期間:2008年4月1日～2010年3月31日 追跡終了日:最終症例登録の5年後 2015年3月31日	2008年4月22日	腫瘍内科 三ツ木 健二
アントラサイクリン系・タキサン系薬剤既治療進行・再発乳癌症例に対するVinorelbine+Trastuzumab併用療法の検討 Phase I / II 登録機関:2年 追跡期間:1年	2008年4月22日	腫瘍内科 三ツ木 健二
進行・再発胃癌に対する逐次投与または同時併用化学療法のRandomized Phase II Trial 登録期間:2年 追跡期間:1年	2007年5月8日	腫瘍内科 三ツ木 健二
ヒト上皮成長因子受容体(EGFR)遺伝子変異を有する非小細胞肺癌に対するエルロチニブの有効性と安全性の検討 (第Ⅱ相試験) 研究期間:2009年2月～2012年1月 登録期間:2年 観察期間:1年	2009年8月20日	呼吸器内科 綿屋 洋
高齢者非小細胞肺癌の前化学療法無効あるいは再発例に対するエルロチニブの有効性と安全性の検討 (第Ⅱ相試験) 研究期間:2009年2月～2012年1月 登録期間:2年 観察期間:1年	2009年8月20日	呼吸器内科 綿屋 洋
進展型小細胞肺癌に対する予防的全脳照射の実施の有無を比較するランダム化比較第Ⅲ相試験 登録期間:3年間 追跡期間:2年間	2009年3月6日	呼吸器内科 綿屋 洋
高齢者未治療ⅢB/Ⅳ期非小細胞肺癌に対する隔週ゲムシタビン+カルボプラチン併用療法対隔週ゲムシタビン+カルボプラチン併用療法後のゲムシタビン維持療法における無作為化比較第Ⅱ相試験 登録期間:2年間 観察期間:1年間	2008年12月22日	呼吸器内科 綿屋 洋
既治療小細胞肺癌に対する塩酸アムルピシンとシスプラチンの併用療法に関する第Ⅱ相試験 症例集積期:承認後～2009年6月	2008年6月10日	呼吸器内科 綿屋 洋
非小細胞肺癌を合併した特発性肺線維症に対する観察研究 研究期間:3年	2007年7月5日	呼吸器内科 鶴田 伸子
高齢者非小細胞肺癌の前化学療法無効あるいは再発例に対するエルロチニブの有効性と安全性の検討 -Phase II study- 研究期間:2009年2月～2012年1月 登録期間:2年 観察期間:1年	2009年9月3日	胸部外科 加藤 雅人

臨床研究・試験課題および期間	審査委員会承認日	診療科 実行責任医師
高齢者非小細胞癌に対するTS-1による術後補助療法の認容性試験LOGIK0901 症例集積期間:18ヶ月 目標症例数:25例 観察期間:6ヶ月	2009年9月3日	胸部外科 加藤 雅人
ヒト上皮成長因子受容体(EGFR)遺伝子変異を有する非小細胞肺癌に対するエルロチニブの有効性と安全性の検討 -Phase II study- 研究期間:2009年2月~2012年1月 登録期間:2年 観察期間:1年	2009年9月3日	胸部外科 加藤 雅人
アロマターゼ阻害薬治療による初期治療施行のホルモン感受性閉経後乳癌症例における骨に関する研究 登録期間:2008年7月1日~2009年12月31日 追跡期間:登録終了後2年目まで	2008年7月22日	乳腺内分泌外科 大城戸 政行
LH-RH analogue+Tamoxifen併用療法抵抗性 ホルモン受容体陽性閉経前進行・再発乳癌患者に対するLH-RH analogue+アロマターゼ阻害(Anastrozole)併用療法の臨床効果の検討	2008年6月26日	乳腺内分泌外科 大城戸 政行
乳がん患者の多目的コホート研究06 登録期間:最初の被験者登録から3年 追跡期間:最長8年	2008年6月19日	乳腺内分泌外科 大城戸 政行
レトロゾールによる術前内分泌療法が奏功した閉経後乳癌に対する術後化学内分泌療法と内分泌単独療法のランダム化比較試験(N-SAS BC 06) 登録期間:最初の被験者登録から3年 追跡期間:最終の被験者登録から5年	2008年6月19日	乳腺内分泌外科 大城戸 政行
低用量BCG膀胱腔内注入療法の有用性に関するランダム化比較試験 研究期間:2009年9月~2013年3月 登録期間:2009年9月~2011年3月	2009年8月31日	泌尿器科 小藤 秀嗣